

The International Bureau of WIPO
34 Chemin des Colombettes
1211 Genneva 20
Switzerland

Amendment of the claims under Article 19(1) (Rule 46)

International Application No. PCT/JP2004/012318

International Filing Date: 20. 08. 2004

Applicant: Hitachi Construction Machinery Co., Ltd.

Agent: HIROSE Kazuhiko

TEL: 81-3-3342-8971

FAX: 81-3-3345-9748

Agent's File Reference: 207-PCT

Dear Sir.

The Applicant, who received the International Search Report relating to the above-identified International Application transmitted on 16. 11. 04, hereby files amendment under Article 19(1) as in the attached sheets.

By the amendment, claims 1, 2, 4, 9 and 10 are amended, claim 3 is canceled and claims 5, 6, 7 and 8 are retained unchanged.

The Applicant also files as attached herewith a brief statement explaining the amendment and indicating any impact that amendment therein might have on the description and drawings.

Very truly yours,


Kazuhiko HIROSE

Attachment:

(1) Amendment under Article 19(1)	3 sheets
(2) Brief Statement	1 sheet

請求の範囲

1. (補正後) 前側に作業装置が設けられたフレームと、該フレームの後側に搭載されたエンジンと、該エンジンの前側に位置して前記フレーム上に設けられた床板と、該床板に設けられたオペレータが着座する運転席とを備えてなる建設機械において、
5

前記フレームの前側位置と前記床板の前側位置との間には、当該床板の前側位置を支点として前記運転席と一緒に床板を傾転可能に支持する床板支持機構を設け、
10

前記床板支持機構よりも後側に位置して前記フレームと床板との間には、基端側が前記フレームに揺動可能に支持されたねじ軸と、前記床板と該ねじ軸との間に設けられ該ねじ軸の回転に応じて移動する移動部材とからなる傾転機構を設け、
15

該傾転機構は、前記ねじ軸の基端側を揺動支点とし、前記移動部材を移動支点として、当該移動支点が任意の位置まで変位することにより前記床板を移動支点の変位量に応じて前側に傾転させる構成としたことを特徴とする建設機械。
20

2. (補正後) 前記傾転機構は前記床板の側面位置に前、後方向に伸長して設け、前記ねじ軸を外部から操作することによって前記移動支点を変位させる構成としてなる請求項1に記載の建設機械。
25

3. (削除)

4. (補正後) 前記傾転機構は、基端側が前記揺動支点となって前記フレーム側に上、下方向に揺動可能に取付けられ先端側が自由端となって前側に延びたガイドールを有し、

前記ねじ軸は、該ガイドレールに沿って延び該ガイドレールの長さ方向に位置決めされた状態で回転可能に設ける構成とし、

5 前記移動部材は、前記床板側に回動可能に取付けられ該ねじ軸に螺合した状態で前記ガイドレールに沿って前，後方向に移動する構成としてなる請求項1に記載の建設機械。

5. 前記ガイドレールは、前記フレーム側に揺動可能に取付けられる基端取付部と、該基端取付部から平行に10延びる2本のレール部と、該各レール部の先端を連結する先端連結部とにより長方形状の枠体として形成し、

前記ねじ軸は、前記各レール部間を延び、基端側を自由端とすると共に先端側を前記先端連結部に取付け、

前記移動部材は、前記ガイドレールの各レール部間に15位置して前記ねじ軸に螺合して設け、

前記移動部材は、前記ねじ軸の先端側を回転操作することにより前記ガイドレールに沿って変位する構成としてなる請求項4に記載の建設機械。

6. 前記ガイドレールは、前記フレーム側に揺動可能に取付けられる基端取付部と、該基端取付部から平行に延びる2本のレール部と、該各レール部の先端を連結する先端連結部とにより長方形状の枠体として形成し、

前記ねじ軸は、前記各レール部間を延び、基端側を前記基端取付部に取付けると共に先端側を前記先端連結部25に取付け、

前記移動部材は、前記ガイドレールの各レール部間に位置して前記ねじ軸に螺合して設け、

前記移動部材は、前記ねじ軸の先端側を回転操作することにより前記ガイドレールに沿って変位する構成とし

てなる請求項 4 に記載の建設機械。

7. 前記フレームには前記エンジンの近傍に位置して前記床板の後側位置を支持する支持部材を設け、

前記支持部材には前記傾転機構のガイドレールの基端側を揺動可能に取付け、前記床板の側面位置には前記傾転機構の移動部材を取付ける構成としてなる請求項 4 に記載の建設機械。

8. 前記支持部材は、前記エンジンの上側で左、右方向に延びる支持ベースと、該支持ベースから下向きに延びて前記フレームに取付けられる複数本の支柱とにより形成し、

前記各支柱のうち床板の側面位置に配置した支柱には、前向き傾斜する傾斜面部を設け、

前記支柱の傾斜面部には、前記傾転機構の基端側を支持する取付ブラケットを設ける構成としてなる請求項 7 に記載の建設機械。

9. (補正後) 前記床板は、前記運転席に着座したオペレータの足乗せ場となる足乗せ板と、該足乗せ板の後側から立上り前記エンジンが入り込むように該エンジンの上側を後方に延びた隔壁板と、前記足乗せ板の側部位から立上った側面板とを含んで形成し、

前記傾転機構の移動部材は前記床板の側面板に取付ける構成としてなる請求項 1, 2, 4, 5, 6, 7 または 8 に記載の建設機械。

25 10. (補正後) 前記ねじ軸の先端側には工具連結部を設け、該工具連結部にねじ締め用工具を連結することにより前記ねじ軸を回転駆動する構成としてなる請求項 1, 2, 4, 5, 6, 7 または 8 に記載の建設機械。

条約第19条（1）に基づく説明書

国際調査見解書によると、請求の範囲の第1項および第2項に係る発明は、国際調査報告で引用された文献1（JP2000-72048 A）と文献2（JP60-34966 U）とにより進歩性を有しない、という認定である。

また、請求の範囲の第3項～第10項に係る発明は、国際調査報告に引用されたいずれの文献にも記載されておらず、当業者にとっても自明なものでもない、という認定である。

そこで、請求の範囲の第1項を第3項と合併する補正を行い、この上で請求の範囲の第3項を削除した。また、請求の範囲の第2項と第4項に係る発明は、新しく補正した請求の範囲の第1項に対する従属関係を明確にするための補正を行った。

また、請求の範囲の第9項と第10項に係る発明については、新しく補正した請求の範囲の第1項、第2項に対する従属形式として補正した。